



細めの移植ごてなどを使い、毎作、しっかり天地返す。少し粗めの水はけの良い土にする。太陽光に当てて、十分、消毒を。鉢の中でも良いが、トレーなどに出して念入りにかき混ぜるとなお良い。



しっかり観察して、害虫類を取り除く。

スイカ



ウリ科

ヒマワリ



キク科

つまり
輪作



パンジー



スマレ科

パチュニア



ナス科



プレゼント

古い土に混ぜるだけで再生。硬くなった土がふかふかになり、微生物を活性化させて根を育む「エコガーデンパンフーパウダー」。主原料の竹は間伐材を再利用。5kg・714円を10人に。31名の応募要領で「8月号ガーデニング」係へ。8月末日必着。



商品提供=ハイポネックス ジャパン ☎06-6452-4187

種類を変えて輪作する。たとえば、ウリ科⇒キク科⇒スマレ科⇒ナス科など。

ガーデニング



お百姓さんにとって田んぼや畑の土は、先祖代々引き継いできた宝物。コンテナガーデナーもそれを見習って、土やポットをリサイクルして使い続けたいものです。環境を大切にできるエコな時代のテクニックとは…。

土のリサイクル



良い土を使えば、バラも生き生きと

栽培した土は固く締まって、水の道と呼ばれる水の通り道が出来ています。上手にリサイクルするためには、土の中の空気、土のバランスを整え、病原菌や害虫を取り除くことが大切。コツは――。

- ① 鉢土を耕す
- ② 鉢土を耕す
- ③ 鉢土を耕す
- ④ 鉢土を耕す
- ⑤ 鉢土を耕す
- ⑥ 鉢土を耕す

ナメクジなどは、コンテナ栽培にとって致命的。①②の作業中に注意深く取り除く

- ④ 同じ種類の植物を続けない
- ⑤ かたまりを大切に
- ⑥ 肥料は植物の状態を見てから